

資料紹介

戦意高揚紙芝居コレクション

—資料の概要、公開上の課題、研究の展望—

原 田 広

HARADA Hiroshi

神奈川大学非文字資料研究センターでは、発足5年目にあたる2012年末、大型の非文字資料として「戦意高揚紙芝居コレクション」を収集した。本稿では、このコレクションの概要とともに、情報発信に関する課題、および本資料を対象とした共同研究の構想と展望について紹介する。なお本稿中には、この紙芝居資料をもとに行った公開展示（2013年11月27日～12月20日）・公開研究会（2013年12月4日）の概要報告と一部重複するところがあることをお断りさせていただく。

1. コレクションの概要

(1) 国策紙芝居というもの

紙芝居は、絵巻物・のぞきからくり・写絵・立絵などを源流として1920年代後半に登場した我が国固有の大衆メディアであり、戦前と戦後に2回の興業上のピークがあったとされている⁽²⁾。

紙芝居が日本固有の媒体であることは、太平洋戦争後の日本の民主化・非軍事化を主眼としたGHQの言論検閲体制のなかで、映像部門のなかに紙芝居担当係が設置され、最初はペーパーシアター paper theater と名付けながら最終的にローマ字で“kamisibai”として表現されたことなど、新聞雑誌・通信・出版、ラジオ、映画と異なる扱いを受けたことから証明されている。また、GHQプレス責任者への報告で、紙芝居が次のように説明されていたことも知られている。「紙芝居はタテ十八インチ、ヨコ二フィートの大きさのプラカードに描いたもので構成されている。紙の表側に絵が描かれ、裏側に会話や説明文が書いてある。二十枚から三十枚のプラカードで一つの劇を完成させ

ている。旅芸人のような男は材料をいっぱいつめたトランクを運び、小さな村や大きな町にスタンドをつくって一つの劇を演じている。観客の大部分は子どもで、芝居を見た後に金を払う⁽³⁾。」

関東大震災後・昭和初期に登場した街頭紙芝居は、紙芝居の製作者と実演者を仕切る「貸元」という集団のもとで一時大きな興業人気を博した。しかし、1937年に日中戦争が始まり、戦時色が強まる中で、紙芝居の脚本家や画家も国家の言論統制の網の中に編入され、1938年には日本教育紙芝居協会という国策団体のもとで大量に生産された印刷紙芝居の時代を迎える。

当時の時代背景をみると、国民総動員体制のための公事結社として、1940年に大政翼賛会が設立。同文化部の仕事として「児童文化の新体制」を構築することが志向され、1941年12月23日には内閣情報局の主導で社団法人日本少国民文化協会が創設されたことにともない、日本教育紙芝居協会は、日本少国民文化協会の一部会に吸収される。内閣情報局は、1940年第二次近衛内閣のもとで、総力戦態勢の整備、特に「挙国的世論の形成」を図ることを目的として（情報部を改組するかたちで）設立された組織であり、その下部組織として半官半民の組織や外郭団体、マスコミ関係の会社など多数の組織を擁していた。その主な任務は、情報蒐集、報道および啓発宣伝、出版物・放送の検閲・指導であり、その範囲は、映画・レコード・演劇・演芸にも及んでいた。大政翼賛会は、この内閣情報局の外郭団体である⁽⁴⁾。

また、日本少国民文化協会は、内閣情報局とともに、青少年の教育に関わる文部省が主管する組織であり、管理する対象に即して、映画、ラジオ、出版、音楽、文学、絵画、演劇、舞踊、児童、遊具、及び紙芝

居の11の部会が設けられていた。この協会の目的は〈皇道の道に則り国民文化の基礎たる日本少国民文化を確立し以って皇国民の錬成に資す〉というもので、子どもの文化活動に関する活動を一元的に管理することをねらったものであり、紙芝居はむろんのこと映画、幻灯、音楽、レコードなど子ども向けのメディアを事前指導・審査したり、優秀作品に賞を与えるなどの事業を行った。同協会の紙芝居部会は第一群を街頭紙芝居、第二群を教育紙芝居と分けながらも、両部の連絡・協力体制の緊密化が図られていた⁽⁵⁾。

このようにすべてのメディアが、高度国防国家の構築を目指す国家の言論統制・検閲のもとにあった時代に大量に制作された印刷紙芝居が、いわゆる「国策紙芝居」あるいは「軍国紙芝居」と称されるものであり、これが戦争協力の一翼を担ったとの嫌疑を受け、GHQによる検閲と処分を招くことにつながる。

戦後は、GHQの占領期1946年から1952年までの7年間くらいに二度目の最盛期を迎えるが、紙芝居は低劣・俗悪で子どもへの悪影響があるという世論や、それを受けた業界の自主規制、さらに1953年に放送を開始した街頭テレビに押され、50年代後半にはTVが家庭に普及するにつれて徐々に衰退した。その後の子どもたちの耳目（関心・興味）は、TVアニメや漫画雑誌『少年マガジン』（1959年刊行）などに吸収されていった。

(2) 「戦意高揚紙芝居コレクション」の概要

本センターが、古書市場から「戦意高揚紙芝居国策コレクション」としてカタログベースの紹介を受けたのは2012年末である。そのカタログは、戦時下に発行された印刷紙芝居が、出版社別・編年的にきちんと整理されたものであり、旧蔵者（作家・櫻本富雄氏）の長年にわたる収集への熱意とこれを整理した関係者の労力が感じられるものであった。コレクションの稀覯性に対する直感が働いたのはもちろんであるが、特色ある「図像」資料の収集を役割りのひとつとする本センターの収集方針への適合性を検討するために、センター長以下、日本近・現代史研究者など関係者の内覧を経て、大型コレクションとして購入を決定した。

本コレクションは、日本教育紙芝居協会の出版団体

であった日本教育画劇から、1941年から1944年の4年間に刊行されたものを中心とした241点で構成されている。そのなかには、1940年以前刊行8点、1945年刊行2点、出版年不明8点（そのうちの1点は敗戦後の刊行と推測される）が含まれている。すなわち241点中223点（92.5%）が、太平洋戦争下の1941～1944の4年間に印刷・刊行されたもので構成されており、このことは、日本の敗色が濃厚になった1945年になると国策的紙芝居の出版も低調になったことを推測させるものである。

出版団体としては、241点中の177点（約73%）が日本教育紙芝居協会ないし日本教育画劇から刊行された作品であり、このほかの主な出版団体には、大政翼賛会宣伝部10点、興亜画劇8点、大日本画劇8点などがある。これらの諸団体の相互関係というものも、徹視的には、戦時下の紙芝居研究のひとつの研究テーマになり得るのであろう。

また本コレクションが、当時の国策紙芝居のうちどの程度をカバーしたものであるかということの確定も資料評価に深く関わる場所である。この点に関して、山本武利『紙芝居——街角のメディア』（前掲）は、1943年の印刷紙芝居版元別統計として309点という数値を掲載している。旧蔵者・櫻本富雄『紙芝居と戦争——銃後の子供たち』では、日本教育紙芝居協会が結成された1938年以降1945年8月の敗戦までの7年間に刊行された紙芝居は、この統計を基礎に1500～2000点と推測されている⁽⁶⁾。また森山優氏は論文「戦時・占領期印刷紙芝居目録」で、雑誌『教育紙芝居』『紙芝居』の記事目録にもとづいて作成したデータベースにより、1938年から1945年までに刊行された紙芝居延べ670点が確認されたことを発表している⁽⁷⁾。このように、国策紙芝居の全貌は必ずしも正確に解明されているとは言えないと思われ、本コレクションの評価にもつながる国策紙芝居の全容確定は今後の研究課題であると言えることができよう。

2. 資料情報発信に関する課題

本コレクションは、神奈川大学内研究所等の集中管理を行っている図書館における通常整理を行い、その

結果、紙芝居の書誌的情報は、神奈川大学図書館蔵書検索 OPAC から検索することが可能となっている。2012 年度末までに資料整理をひととおり終えたことよって、今後は、本学の研究者・院生レベルの研究に、この資料をいかに活用するかという段階を迎えるものと考えていた折しも、ほぼ同時期に、学内で「デジタルライブラリー」立ち上げのプロジェクトが開始され、本センターもそのプロジェクトの一員として参画することとなった。デジタルライブラリー（本学では「デジタルアーカイブ」と称している）の国内的な活性化は、図書館界における学術情報提供機能が書誌的情報から資料の全文情報に重点を移し、博物館・美術館などでも自館の所蔵資料をデジタル映像で発信するという取り組みが全国的になされるようになったことを背景としている。本学においても、研究所などに、図書館レベルの整理にあまり適合しない様々な原資料が所蔵されており、これらを発信すべき時期にきたということでプロジェクトに着手したものである。

本学は 2012 年 11 月に開発を開始し、2013 年 5 月上旬には、日本常民文化研究所と大学資料編纂室のデータベースの一部が公開された。その後、このプロジェクトに参加する非文字資料研究センターとしては、図書館レベルの整理が終わった紙芝居をいかに発信するかが、デジタルアーカイブ開発のひとつの焦点となってきた。そのなかで我々が直面し、これまでに〈ある程度解決できた問題〉、2 番目になお〈解決に時間を要する問題〉、そして 3 番目に〈解決の見通しがなかなか立たない問題〉があることに気づかされた。以下この 3 点について、非文字資料研究センターという研究機関としての役割のうち、所蔵資料の情報発信に関わる課題として紹介したい。

(1) ある程度解決できた問題：紙芝居資料の分類

図書館 OPAC、デジタルアーカイブに共通する問題として、何らかの検索語を投入しない限り、システムからのレスポンスを得ることができないという問題がある。図書館システムについては、出版情報や二次文献にもとづいて、著者やタイトル、あるいは図書館界においてコントロールされた主題語などの検索語をフリーに入力することを前提としてシステムが構築さ

れている。しかし、デジタルアーカイブから提供される資料群については、検索語の手掛かりが少ないあるいは特殊であるため、端末の前で利用者が佇んでしまう（何を入れても〈その資料はありません〉というメッセージに途方に暮れてしまう）ということを多くの場合反復する現象が見られる。このような問題を解消するために、何らかの形で資料全体を俯瞰できる補助的な検索手段を提供することが必須と考えられた。

こうした補助検索手段の作成は、多くの場合、そのデータベースを構成する資料の特性に応じた時間（時代）や空間（地名）、その成立に関与した固有名、あるいは当該分野の学問的分類体系などを手掛かりにすることが一般的なアプローチであろう。紙芝居資料についての文献をいくつか調べているなかで、平林博『体験が語る紙芝居の実際』（照林堂書店、1943）のなかに国策紙芝居の分類体系が示されており、これが、その後の研究文献にも多く引用されていることが判明⁽⁸⁾した。そこで、コレクション全体の補助検索手段として、（独自の分類体系を考え出すよりも）研究者の繰り返しの引用に耐えてきたこの分類体系を使用することが有意と判断し、これをもとに分類を試みることにした。分類作業を試行するにあたり、分類表は上記原本をそのまま使用したが、主題語（キーワード）は、煩雑さを回避するとともに、また現時点でもその語から主題を容易に連想できるような言葉となるよう、ある程度の整理を行った（分類表は〈表 1〉のとおりであり、本稿末尾に、本コレクション全体の分類一覧表を付した）。

分類作業に常に付随する問題として、分類者の主観の混入や、複数主題をもつ作品をどこか一箇所に分類せざるを得ないということからくる分類上のプレヤムリは残っているが、検索の補助手段として使用するという意味では支障がない程度のレベルは確保できたものと考えている。本学のデジタルアーカイブからの情報発信においては、この分類にもとづく一覧表をクリックすることによって、その分類あるいはキーワードに対応する作品の書誌情報にたどり着けるような仕組みを、2014 年 4 月には提供できる予定である。

表1 戦意高揚紙芝居コレクション分類表

番号	分類	キーワード
1	国策紙芝居	国体明徴、国史、国旗、皇軍物語、忠君愛国、銃後物語、隣組・婦人会・常会、勤儉貯蓄、勤労増産、生活改善、疎開児童、体位向上、軍人援護、防諜防犯、防空知識
2	教化紙芝居	東西偉人伝、衛生防疫、動物愛護、国民礼式
3	ニュース紙芝居	戦局ニュース、時事問題、国際情勢、新法令公布・解説、政府施行事項、子供ニュース
4	文化紙芝居	産業・交通、発明発見物語、軍器、文化史
5	名作紙芝居	小説、史話、映画、劇、童話、寓話
6	大東亜工作紙芝居	防共問題、宣撫活動、満州国建国史、日本語練習
7	娯楽紙芝居	ユーモア、漫画、大衆演芸
8	教材紙芝居	国民学校教材、校外教育、児童創作紙芝居、感化教育、成人講座、労務者教育
9	保育紙芝居	幼稚園・保育所教材、生活指導、情操教育、言語修練

(2) 解決に時間を要する問題：紙芝居の

デジタル化・テキスト化・音声化と著作権処理

デジタルアーカイブは、書誌情報プラス全文のデジタル情報を発信するシステムである。この点、紙芝居は、台詞・絵画・音声の3つの素材から成り立っているため、デジタル情報発信にあたっては、それぞれの素材のデジタル化作業と、複製・公衆送信に係る著作権の問題をクリアすることが課題となる（正確には、著作権をクリアした作品をデジタル化するという事となる）。

紙芝居コレクションの台詞と絵画のデジタル化に対する本センターにおける取り組みは、個人の場合死後50年、団体の場合刊行後50年という著作権保護期間を経過したものと、未だ経過していないものとに分け、前者についてデジタル化作業を進めると同時に、後者については著作権者（継承者を含む）への許諾処理を行うという作業に着手した段階にある。また、音声については、神奈川大学放送研究会（学生課外活動団体）の協力を得て、朗読録音を開始したところである。脚本（旧仮名遣い）のテキスト化作業には、1作品（20枚平均）あたり最低でも数時間を要することも判明している。

いずれも、かなり長期にわたる作業となることが予測されることから、この点を情報発信に関する「解決に時間を要する問題」として記しておきたい。

(3) 解決の見通しが立たない問題：

全国総合目録の編集

最後に解決の見通しが立たない問題とは、紙芝居作品にアクセスするための、全国的な書誌・所蔵情報（全国総合目録）に相当するものが作成されていないという問題である。

同じ大衆的なメディアである映画については、配給と観覧の仕組みが紙芝居と異なるだけでなく、作品目録は映画団体が作成した累次の「映画年鑑」の形で残されており、専門研究者・雑誌社によるデータベースも複数構築されている。音楽（レコード）については、いくつかの大手レコード会社（日本コロムビア、ビクター、テイチクレコードなど）の社史的記録により判明する。漫画については、納本漏れが指摘されるものの、貸本業者等から寄贈されたものなどを基礎に東西の漫画ミュージアムが保存拠点として創設されている。

しかし、紙芝居については、日本教育紙芝居協会によって統合された戦時下の時期以外は、作成者と実演者を束ねる貸元という零細的仕組みのもとで動いてきた事情もあり、販売情報さえ必ずしも整備されてこなかった（検閲も出版物としてではなく、交通や飲食物取締りを根拠法とした紙芝居業者に対する取締りであった）。また、現物の多くは終戦時にGHQの追及を避けるために焼却・散逸したとされている。街頭紙芝居を含む有力な所蔵機関としては、国際子ども図書館（2012年12月末現在、1,222点）、宮城県図書館（2006年3月に国の登録文化財となった街頭紙芝居等

5,652点)、昭和館(約500点とされる)、大阪府立国際児童文学館(1990年所蔵目録に867点を収録)などがあるが、あくまで個別図書館の目録情報提供にとどまっているだけではなく、デジタル化資料へのアクセスとなると先に述べた著作権問題もからみ、大きな制約のもとにある。このような紙芝居資料へのアクセス上の制約は、多くの浩瀚な研究が輩出されてきた文学・映画・美術・漫画・音楽などの領域と異なり、紙芝居の研究成果が、戦時下文化人の戦争責任を追究してきた在野の研究者によるものを除いて極く少数にとどまっていることが示すとおり、大衆メディアとしての総合的な研究の進展を阻むひとつの要因となってきたと考えられる。

この点は1950年代後半に衰退した紙芝居という大衆メディアの学的扱いの成熟度に関連するが、既述した国策紙芝居の全容解明にも通底する事柄であることから、本センターの資料情報公開の一環として、本「戦意高揚紙芝居コレクション」と森山優氏「戦時・占領期印刷紙芝居目録」2013(前掲)による出版情報調査結果との重複状況を、本稿末尾「分類一覧表」中に併せて掲載し公表することとした(このような形式での掲載許諾をいただいた氏に感謝を申し上げたい)。しかし、一所蔵館での試みは、街頭紙芝居を含む全国総合目録の構築にはほど遠い歩みであり、戦前期紙芝居の全貌(多くても一万点以下と見積もられる)を把握するには、有力な紙芝居所蔵館と研究者による統合作業が欠かせないと思われる。このたび雑誌『教育紙芝居』『紙芝居』が金沢文圃閣から復刻されたことも、研究調査の進展にとって大きな一助となろう。

3. 共同研究の展望

冒頭で述べたとおり、本センターでは、資料整理が終了しデジタルアーカイブからの発信準備が進行していることを受け、紙芝居コレクションの公開展示および公開研究会を開催した。公開研究会では旧蔵者・櫻本富雄氏の講演会と公開座談会を行い、研究資料としての活用方策を中心とした討議が行われた。この公開研究会は、本センターの共同研究が第三期(2014-2016年度)を迎える時期にあたり、研究事業再編の

一環として、紙芝居資料をも対象とした共同研究を立ち上げることを念頭に置いたものでもあったが、その後、共同研究班「戦時下日本の大衆メディア」の立ち上げを正式に決定した。具体的な研究計画・研究体制の確定は、2013年度末(本稿執筆時よりやや後)となる見込みであるが、共同研究の基本構想は、下記のとおり示されている。

「この研究は、近年日本近現代史研究においても、広がりを見せている戦時下大衆メディアを対象に、そのプロパガンダの機能などを通して、戦時下大衆文化の構造を検証し、戦時体制の特質を再考することにある。具体的には、非文字資料研究センターに収蔵された『国策紙芝居』資料を中心に、資料収集に努めるとともに、いまだ不十分である大衆文化の分析視角の共有化を進めること。また同時代の映画・マンガ・アニメ・流行歌などとの関係や、植民地での実態、さらにナチスドイツなどとの比較も視野に入れながら、多角的に進めたい。研究は資料収集のための現地調査や関係者の聞き書き、関連分野の研究者を含めた研究会などを予定している。」(研究代表者・安田常雄)

この基本構想にあるとおり、本共同研究の対象が紙芝居に限定されるものでないことは言うまでもなく、むしろ紙芝居についても、これまでに蓄積されてきた映画・写真・マンガ・美術・音楽・新聞雑誌といった戦時下日本の大衆メディア研究との関わりのもとで、その固有の遠近感・位置づけを確定していくことに主眼が置かれることになるのではないかと考えられる。

先に行われた公開座談会では、共同研究代表・安田常雄から、紙芝居研究の構えとして、(1)紙芝居の文化特性(紙芝居実演の場所性、手渡しのメディアの直接性・原型性、子どもという存在の国策紙芝居への関与実態、徴兵・徴用・児童疎開による戦時下の生活場面の变化)、(2)紙芝居の作家性(表現責任の問題、紙芝居作家の内的必然性)、(3)紙芝居と植民地という文脈の実態解明、(4)メディア研究への基本的スタンスの再考⁽⁹⁾といった研究視点が示されており、これらを柱とした2014年度からの共同研究の推進が期待されるところである。

付論：紙芝居コレクションの特性

紙芝居を含む戦時下の諸メディアの研究を推進するためには、学外研究者を含む多面的な協力を仰ぐとともに、研究資料の収集・提供体制を組織的に整備しフォローすることも求められるであろう。本稿の最後に、付論として、本センターとして久々の大型近現代史資料である戦意高揚紙芝居コレクションの分類・情報発信に関わってきた立場から、その資料的特性の一端を紹介し、今後の共同研究の展開に対する事務的支援の責めを塞ぐこととしたい。

(1) 刊行年・主題の特性

まずは、本コレクションの中核を構成する1941～1944年刊行作品（233点）の刊行年と主題（分類・キーワード）の相関関係から、下記のような特徴を指摘することができる。

第一に、〈表2-1〉のとおり、本コレクション作品群の出版点数が、1941年70点、1942年61点、1943年46点、1944年46点と漸減するという点である。このような作品刊行の動向が国策紙芝居全体の傾向を示しているものであるのかどうか。国策紙芝居の年代的起点を1938年の日本紙芝居教育協会の発足に置いた全容の解明（1940年太平洋戦争開始以前から1945年同末期までの刊行点数や主題の実態を含めた把握）が求められるところである。

第二に、〈表2-2〉のとおり、同一主題（同一分類・キーワード）の作品10点以上のものを多数順に列挙すると、本コレクションについて、下記のような特徴を読み取ることができる。

- ① 「皇軍物語」「東西偉人伝」が最上位を占めること：戦場もの・軍人伝記による皇軍意識の教化、先人・偉人伝による日本人の一体意識の感化の役割が紙芝居作品に求められたものであろう。
- ② 第2グループとして「情操教育」「童話」「感化教育」がコンスタントに制作されていること：子どもを対象とするこのような作品領域が、紙芝居作家の本来の創作フィールドであったことを伺わせる。
- ③ 第3の多数グループとして「勤儉貯蓄」「勤労増産」「銃後物語」が、前期に集中していること：太

平洋戦争の前半期に、紙芝居作品にも、節約・貯蓄・勤労など、銃後の生活統合の要求が反映されたものであろう。

- ④ その他：〈表2〉および〈表3〉から、「国体明徴」「忠君愛国」などのいわゆる国体ものと、「発明・発見物語」に分類される新たな武器の生産・科学的発

表2-1 刊行年別分類点数

分類	キーワード	1941	1942	1943	1944	合計
1	勤儉貯蓄	8	3	3		14
1	勤労増産	8		1	1	10
1	軍人援護	4				4
1	皇軍物語	6	4	9	9	28
1	国体明徴	1		2	2	5
1	国史		2			2
1	忠君愛国			1	4	5
1	銃後物語	5	2	1	2	10
1	体位向上	1				1
1	防空知識	1			2	3
1	防諜防犯	1	2	1		4
1	生活改善		1			1
1	隣組・婦人会・常会	2				2
2	衛生防疫	5				5
2	東西偉人伝	9	8	8	2	27
2	動物愛護	1				1
3	時事問題	1	1		2	4
3	戦局ニュース		4	2	1	7
4	発明発見物語			1	3	4
4	文化史			1		1
5	小説	1	3		2	6
5	史話		3	1	3	7
5	劇			1	1	2
5	童話	1	6	5	3	15
6	宣撫活動	1	2		1	4
7	大衆演芸	2				2
7	漫画	1				1
7	ユーモア			1		1
8	感化教育	3	2	5	5	15
8	国民学校教材	2	3			5
8	児童創作紙芝居		1	1		2
8	成人講座	2	2			4
9	情操教育	3	11	1	2	17
9	幼稚園・保育所教材			1	1	2
9	生活指導	1	1			2
	計	70	61	46	46	223

表2-2 分類点数（多数順）

分類	キーワード	1941	1942	1943	1944	合計
1	皇軍物語	6	4	9	9	28
2	東西偉人伝	9	8	8	2	27
9	情操教育	3	11	1	2	17
5	童話	1	6	5	3	15
8	感化教育	3	2	5	5	15
1	勤儉貯蓄	8	3	3		14
1	勤労増産	8		1	1	10
1	銃後物語	5	2	1	2	10

見による明るい展望を描く作品が、後半の2年間に制作されている。戦線不利の打開と蔓延した厭戦気分の払拭が、国体（宗教）と科学に同時に求められていることに、当時の国情・民衆意識の矛盾した状況が看取されよう。

以上の点についても、より多くの作品分析によるデータの検証が求められるが、国策紙芝居のある種の経年的動向を示していると考えられる。

(2) 国策的特性

本コレクションの分類が依拠した国策紙芝居の分類表それ自体、太平洋戦争下の国策の啓蒙、国民統合のための国体意識の教化、戦時体制下の日常生活意識の涵養を目指したもの（以下A群と呼ぶ）と、各種の物語類に素材を採ったもの、国民学校等の教材として製作されたもの（以下B群と呼ぶ）とに、大きく区別することができる。

そして、この分類表による本コレクションの作品の傾向（分類結果〈表3〉）は、当時の国策的な意図が明確に表れているもの（A：顕現的作品群114点）と、必ずしもそうではないもの（B：非顕現的作品群109点）とが、ほぼ相半ばする結果を示している。その意味で、これらを一括して

「戦意高揚紙芝居」と称することが適切か（あるいは妥当か）という問題が指摘され得るところであり、上記の公開研究会においても、ひとつの議論の焦点になったところである。

たとえば、「すべての作品が当時の検閲機関のもと

表3 分類点数（国策的性格別）

大分類	中分類	分類	主キーワード	1941	1942	1943	1944	合計
A 顕現的	A-1 国策	1	皇軍物語	6	4	9	9	28
		1	軍人援護	4				4
		1	勤儉貯蓄	8	3	3		14
		1	勤労増産	8		1	1	10
		1	防諜防犯	1	2	1		4
		3	時事問題	1	1		2	4
		3	戦局ニュース		4	2	1	7
		4	発明発見物語			1	3	4
		6	宣撫活動	1	2		1	4
			合計		29	16	17	17

A 顕現的	A-2 国体	1	国体明徴	1		2	2	5
		1	国史		2			2
		1	忠君愛国			1	4	5
		4	文化史			1		1
			合計	1	2	4	6	13

A 顕現的	A-3 生活	1	銃後物語	5	2	1	2	10
		1	体位向上	1				1
		1	防空知識	1			2	3
		1	生活改善		1			1
		1	隣組・婦人会・常会	2				2
		2	衛生防疫	5				5
			合計	14	3	1	4	22

A：顕現的作品群	総合計	44	21	22	27	114
----------	-----	----	----	----	----	-----

B 非顕現的	B-1 物語	5	小説	1	3		2	6
		5	史話		3	1	3	7
		5	劇			1	1	2
		5	童話	1	6	5	3	15
		7	大衆演芸	2				2
		7	漫画	1				1
		7	ユーモア			1		1
			合計	5	12	8	9	34

B 非顕現的	B-2 教材	2	東西偉人伝	9	8	8	2	27
		2	動物愛護	1				1
		8	感化教育	3	2	5	5	15
		8	国民学校教材	2	3			5
		8	児童創作紙芝居		1	1		2
		8	成人講座	2	2			4
		9	情操教育	3	11	1	2	17
		9	幼稚園・保育所教材			1	1	2
		9	生活指導	1	1			2
			合計	21	28	16	10	75

B：非顕現的作品群	総合計	26	40	24	19	109
-----------	-----	----	----	----	----	-----

で統制的に出版されてきたものであるという形式的側面と、作品・実演者・聴衆という3者が出会う共同の場で披露された紙芝居の実質的側面に着目し、戦時下の民衆レベルにおけるメディアの受容形態を分析する研究視点からは、これを戦意高揚紙芝居と称すること

は妥当性を欠くものではない」(資料紹介：センター事務局)。「やがて大人向けの常会で演じられるようになる国策紙芝居への子どもという存在の関わりの実態、さらには実演者の徴兵・工場動員、子どもの疎開などによる戦時下の生活場面の变化を、国策紙芝居の前史となる昭和初期の街頭紙芝居時代・日本教育紙芝居協会成立とともに言論検閲下に入る国策紙芝居時代・太平洋戦争開始以降という歴史的な文脈をも絡ませながら捉えていく必要がある」(公開座談：安田常雄)。「国策紙芝居を学校でも街中でも見たことがない。工場などで演じられていたのだろうが、そうしたものが、戦時下で大衆メディアとして成立していたと言えるのか、誰を目的に作られ、誰が見ていたのかを解明する必要がある」(公開座談：会場昭和9年生男⁽¹⁰⁾性)など。

公開研究会の場では、このような相交錯する議論を整理し結論を下すに至っていないが、国策紙芝居の全容解明にあたり、国策的意図の表出性が相半ばするさまざまな作品群の総合評価は、「紙芝居製作者の関与動機あるいは作者の内在的問題を軸にして考察する作業」(前掲安田常雄)や、天皇制軍事国家における民衆の心情(国策への共感と抵抗の歴史心理)の分析とともに進めるべき重要な研究課題となってくるものと考えられる。

(3) 脚本・絵画の作品特性

本コレクションの分類、公開展示・公開研究に向けた展示資料・レジュメの作成作業において、ほぼ全点に目を通す機会が得られた。この作業を通して、作品群に対する固定的とも言えるような印象が刻まれている。この体験を踏まえ、特に「A：国策的意図の顕現的作品群」の脚本・絵画について共通印象を列挙し、国策紙芝居の作品特性の素描を試みる。

- ① 登場人物：偉人・軍神を除いて人物のディテールは描かれず、ステレオタイプ化された役割を背負った形象化が特徴
 - ・老父母：日清日露の戦勝経験を有する世代
 - ・近隣：関東大震災後の自治組織、近隣関係のフラット化
 - ・有力者：政党政治の腐敗と混乱の象徴

- ・父親：出征兵士、傷痍軍人
- ・母親：銃後を守る妻、軍神の母、婦人会
- ・兄弟：出征・戦死の予感、少年団
- ・姉妹：軍需工場への動員、女子挺身隊、戦争独身
- ・児童：国民学校生、疎開児童

- ② 時代：伝記ものを除き基本的に戦時下の現在
- ③ 地域：東京ないしその近郊、一部東北など
- ④ 脚本：言葉は標準語(教育差、地方差を感じさせないことが念頭にあるのであろう)。1枚目で作品の主題を予感させ(社会的文意の宣言と誘導)、疑問を抱かせない、悲しみに沈みこませない(沈滞の禁止)、個的閉塞(内面)の禁止で一貫
- ⑤ 場面転換：唐突性(架空的時空の設定と誘導)、任意性(理念的同調の強制)、類型性(既視感)がループする15~20分の体験
- ⑥ 絵画：全体に単純な素材で平面的な構図が採られ(短い場面の情景提示を優先)、映画の看板、大衆雑誌・少年少女雑誌の挿絵を想起させる。人物は斜めか遠くを見つめ視線の定まらないのが特徴(対人性の消去)

上記の諸要素で構成される紙芝居作品から受ける全体的印象は、国内(および身近な共同体)においては自粛・忍耐、協調・同和であり、西洋列強に対する劣等感と裏腹の敵意、未開発諸国への優越意識による自発的な戦争翼賛という民衆の心情の誘発・動員である。恋愛や日常的な争い事(人間関係)はほとんど描かれず、描かれても身内や地域共同体秩序に回収される姿においてである。大和民族の伝統につながる国家体制の潔白と日本人の清浄さが一貫して強調されるが、最後に残るのは切ないまでの「貧しさ」である。この印象を70年前の日本(人)の等身大の姿として肯定的に受け止めることはできないが、国民総動員の戦時下という極限状況がもたらす国民的な感性の退化として突き放すことには、ある種の“禁じ手感”(後付けの評価)を残す特異な作品群とすることができる。

このことは、漫画芸術の系譜にある紙芝居という庶民的媒体が、国威発揚という任務を帯びた時に発する無残さに対して、21世紀に生きる我々が無縁なブリティッシュを取り続けることができないのはなぜかという問題を、紙芝居という媒体の「著者性・作品性」とい

う観点から解明する必要性を投げかけるものであると思われる。そのためには、文芸ものを含む一作品ごとあるいは近接主題作品ごとの詳細な分析や、困難が予想される脚本家・画家（本コレクションでは約170人を数える）の連携関係や制作環境の調査が求められるであろう。「紙芝居の芸術性の強調は、紙芝居の大衆性と教化性を美化するための補完でしかありえない」⁽¹¹⁾と櫻本富雄氏は言う。我が国固有のものといわれる紙芝居のメディア芸術としての位置づけ、それが果たした役割について、いかなる遠近感で臨むのか。それは本センターにおける共同研究の基本的構えにも深く関わっている。

あとがき

2013年末に開催した紙芝居関連企画には、マスコミ各社の取材報道も手伝い、それぞれ100名を超える公開展示の観覧者と公開研究会への参加者があった。開催時期が特定国家機密保護法の国会審議と重なっていたことも社会的注目を集める要因であったと思われるが、それ以上に、“紙芝居というメディアへの特殊な関心”が底流にあったように感じられる。その点に触れて、本稿を閉じることとしたい。

紙芝居への特殊な関心とはなにか。それは、子どもが見る紙芝居という過去形メディアの名称に「戦意高揚（あるいは国策）」という形容が結合することで醸成される異質感に発すると言い換えることができるように思われる。映画や漫画を含む大衆メディアには、各人・各世代の受容体験にもとづいて個人史と切り離せない固有のイメージが形成されている。太平洋戦争下の軍事国家体制を象徴する国威発揚的標語に対して実感的記憶を有するのは、いわゆる学童疎開世代（1935年生、現在80歳前後）までであり、戦時下の諸メディア・文化人の戦争責任を資料発掘とともに解明してきたのもこの世代に属する人々であった。一方、庶民的メディアの代表格であった紙芝居については、地域的偏差はあれ、1950年生（現在62-63歳）前後が、街頭で紙芝居を見たことのある世代の下限となっているであろう。そして、この世代までは戦争の記憶を伝える存在が周囲にあったが、60年代の高度

成長期以降に出生した世代は「戦争を知らない子どもたち」以降に属し、いまや人口の大半を占める。

過ぎたる戦争と紙芝居の現在への召喚——1945年夏までのある時期にばたきと歩みを止め、姿を消しつつあった戦時下紙芝居は、体験の直接性を以って戦争責任を語る事が困難となった戦後70年を迎えようとするいま、戦後街頭の私的記憶（心情）と近代的帝国の戦争責任論（歴史性）が交差する場で発掘されたということができのかもしれない。あるいは、戦争という国家の確信的犯罪に動員された諸事象を等距離に扱うために戦後70年の時を要したと、あるいはまた依然生々しい震災体験が、日常崩壊の記憶と空白を埋めるように各人・各世代のなかで重ね合わされているというべきかもしれない。

しかしまた、このような“特殊な関心”には、国策紙芝居を追体験の美化対象とする間歇的な心理から、集合的記憶の不全感を補償する批判的目的性までの幅が含まれていることも否定できない。それは、国策紙芝居が内包する聖戦意識・戦勝願望から、戦後諸メディアが表象する敗戦にともなう虚脱・平和受容までの転換の幅を物語るものでもあろう。その意味で、国策紙芝居というメディアへのアプローチにおいては、過去を記述する際に陥りがちな記憶の一元化という危うさを自戒するとともに、大衆メディアとしての閾値（の高さ）において紙芝居それ自身に語らしめ、それが生み出された時代の多層的な記述に資することが求められているように思われる。紙芝居を語ることは、〈教育勅語〉的価値観から〈戦後憲法〉へと忠誠軸を移行させた昭和という時代性を、強制と受容の文脈において問うことの困難性を引き受けることと同義でなければならぬであろう。

注

- (1) 神奈川大学非文字資料研究センター ニューズレタ
ー『非文字資料研究 No. 31』2014. 1
- (2) 上地ちづ子『紙芝居の歴史』久山社、1997. 2
- (3) 山本武利『紙芝居——街角のメディア』吉川弘文館、2000. 10、p4~9
- (4) 佐藤広美「児童文化政策と教育科学：内務省『児童読物改善ニ関スル指示要綱』（1938年10月）をめぐって」首都大学東京『人文学報、教育学』28、1993. 3. 20

- (5) 平林博『体験が語る紙芝居の実際』照林堂書店、1943.4、p64～65
- (6) 櫻本富雄『紙芝居と戦争——銃後の子どもたち』マルジュ社、1985.8、p85
- (7) 森山優「戦時・占領期印刷紙芝居目録」静岡県立大学国際関係学部『国際関係・比較文化研究』Vol.11, No.2, 2013.03
- (8) 前掲平林 p69～75、前掲櫻本 p171～173、昭和館『紙芝居の世界』メディア・パル、2012.3、p32。この他、前掲上地 p71 にも紙芝居分類への言及がある。
- (9) 前掲 ニューズレター『非文字資料研究 No.31』
- (10) 同上
- (11) 前掲櫻本 p74

戦意高揚紙芝居コレクション目録

タイトル / 著者表示、一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
フクチャントキョキョ／横山隆一案。一日本教育紙芝居協会，1940.11	1	勤儉貯蓄	
はがらかか部隊記／田中龍男原作；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.6	1	勤儉貯蓄	
草鞋長者／平林博脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.7	1	勤儉貯蓄	○
少年戦士／堀尾勉脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.11	1	勤儉貯蓄	
尊き一錢／小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協会脚本。一日本教育畫劇，1941.12	1	勤儉貯蓄	
ラッパ貯金／小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協会脚本。一日本教育畫劇，1941.12	1	勤儉貯蓄	
麴の鐘／大庭鐵太郎脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.12	1	勤儉貯蓄	○
コガニノシヤン／高橋悦子脚本；南義郎繪畫；日本教育紙芝居協会製作；貯金局指導。一日本教育畫劇，1942.5	1	勤儉貯蓄	
麦あげ／大島萬世脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1943.2	1	勤儉貯蓄	
母さん部隊長。一日本教育紙芝居協会，1939.4	1	勤儉貯蓄	
貯金爺さん。一改訂版。一日本教育紙芝居協会，1939.12—(國策紙芝居；第3卷)。	1	勤儉貯蓄	
風呂屋のぢやん；補助貨回収畫劇／藤井圖夢作・画。一戦時物資活用協會，1943.1	1	勤儉貯蓄。軍器	
父／野々口重繪畫；日本教育紙芝居協会脚本・製作。一日本教育畫劇，1942.8	1	勤儉貯蓄。銃後物語	○
乙女橋／西正世志絵画；日本教育紙芝居協会脚本。一日本教育畫劇，1941.8	1	勤儉貯蓄。生活改善	
仲よし貯金／金子しげり脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1941.4	1	勤儉貯蓄。隣組・婦人会・常会	
神様の配給／和田義臣脚本；松井末雄繪畫；日本教育紙芝居協会製作。一日本教育畫劇，1943.3	1	勤儉貯蓄。隣組・婦人会・常会	○
老将軍の放送／亀屋原徳脚本；日本教育紙芝居協会絵画。一日本教育畫劇，1941.8	1	勤労増産	
麦は死なず；産業組合中央會提供／日本教育紙芝居協会製作。一日本教育畫劇，1941.9	1	勤労増産	
お米と兵隊／青木純二脚本；羽室邦彦絵画。一日本教育畫劇，1941.9	1	勤労増産	○
オコメ／橋本宏脚本；小泉紫郎絵画。一日本教育畫劇，1941.9	1	勤労増産	
産業報國／平林博脚本；油野誠一絵画。一日本教育畫劇，1941.10	1	勤労増産	
五人の庄屋／平林博脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.12—(臣民の道シリーズ)。	1	勤労増産	
お米と兵隊／青木純二脚本；羽室邦彦絵画。一日本教育畫劇，1943.1	1	勤労増産	
なんきんかぼち／青木緑園作；城取春生画。一興亞面劇，1944.6	1	勤労増産	
みのる秋／相馬泰三脚色；加太こぶじ画。一大日本神祇會，1941.11	1	勤労増産	
餅の的／金谷完治作；澤令花画。一畫劇報國社，1941.11	1	勤労増産	○
進水式。一[日本教育紙芝居協会]。	1	勤労増産	△
少年工と母／神谷喬太郎脚本；佐東太朗子繪畫；日本教育紙芝居協会製作。一日本教育畫劇，1942.8	1	勤労増産。銃後物語	○
大政翼賛／砥上峰次編輯。一日本教育紙芝居協会，1940.12	1	勤労増産。忠君愛国	
鐵の腕(てつのかひな)／鈴木景山原作；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1941.8	1	軍人援護	
あまいふだ／羽室邦彦絵画；日本教育紙芝居協会脚本。一日本教育畫劇，1941.10	1	軍人援護	○
あかるい門出／日本教育紙芝居協会製作。一日本教育畫劇，1941.12	1	軍人援護	
安子の修業／平林博脚本；籠宮歌ニ絵画。一日本教育畫劇，1941.12	1	軍人援護	○
内地の風；少女俱樂部所載氏原大作「内地の風」より／鈴木紀子脚本；森田銀之助絵画；氏原大作原作。一日本教育畫劇，1941.9	1	皇軍物語	

* 森山優氏調査は注7「戦時・占領期印刷紙芝居目録」掲載作品との関係を示す(○印；本センター所蔵との重複，△印；出版年違い)

タイトル / 著者表示、一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
時計は生きてゐる／倉光俊夫脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.9	1	皇軍物語	
殊勳涙あり；吉村誠著ヨリ／黒田愛知脚本；油野誠一絵画。一日本教育畫劇，1941.10	1	皇軍物語	
鐘崎三郎；興亞の志士／平林博脚本；佐東大朗子絵画。一日本教育畫劇，1941.12	1	皇軍物語	
あゝあの赤い夕陽／平林博脚本；谷野半ニ。一日本教育畫劇，1941.12	1	皇軍物語	
英東洋艦隊全滅す／小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1942.1	1	皇軍物語	○
軍神の母／鈴木紀子脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1942.6	1	皇軍物語	○
軍神の母／鈴木紀子脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1942.12	1	皇軍物語	△
海の母／永見隆二原作；稲庭桂子脚本；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1943.7	1	皇軍物語	○
眞珠灣除根／高田保原作；吉田春脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1943.1	1	皇軍物語	○
軍神岩佐中佐／村田康男，鈴木景山脚本；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1943.6	1	皇軍物語	○
闘ふ母／鈴木紀子脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1943.7	1	皇軍物語	○
空の軍神加藤少将／鈴木景山脚本；小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1943.11	1	皇軍物語	○
中澤挺身隊；ガダルカナル島血戦記／北島英作脚本；泉比呂正絵画。一日本教育畫劇，1943.10	1	皇軍物語	○
瓜文字／文化奉公會脚本；野々口重絵画。一日本教育畫劇，1943.12	1	皇軍物語	○
父の手紙／伊藤壽雄脚本；野々口重絵画；永村貞子編輯。一日本教育畫劇，1944.1	1	皇軍物語	○
天降る神兵／北島英作脚本；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1944.1	1	皇軍物語	○
忠霊陣地；ニューギニア戦記／鈴木景山脚本；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1944.6	1	皇軍物語	○
海の男；運輸通信省海運總局委嘱作品／小貫武雄脚本；小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1944.9	1	皇軍物語	○
我は海の子／中島幸三郎原作；青木緑園脚本；城取春生美術。一興亞面劇，1945.1	1	皇軍物語	△
忠魂の歌／大日本皇道歌會編；國民畫劇研究會脚色・畫。一畫劇報國社，1942.5	1	皇軍物語	○
七つの石；軍人援護畫劇／小原弘也作；小宮小次郎画。一大日本畫劇，1941.9	1	皇軍物語	○
空飛ぶ御盾／大日本飛行協會企畫；大日本畫劇株式會社製作；小貫武雄作；金子士朗畫。一大日本飛行協會，1943.8	1	皇軍物語	○
神兵と母／宮下正美原作；馬々田鷹四脚本；山川惣治画。一大日本畫劇，1944.9	1	皇軍物語	
雛鷺の母／八田尚之作；高澤圭一絵。一大日本畫劇，1944.11	1	皇軍物語	
『神風』の飯沼正明／十河巖，大内秀邦原作；小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1943.9	1	皇軍物語，軍器	○
ピルマ少年と戦車／山本和夫作；木俣清画。一大日本畫劇，1944.3	1	皇軍物語，宣撫活動	○
初陣／加藤武雄作；玉村吉典画。一大日本畫劇，1944.4	1	皇軍物語，忠君愛国	
菊水號と兵隊物語／福島字次郎原作；山北清次脚本；木島武雄絵画。一神戸軍犬学校畫劇部，1943.7—（戦線に吠る軍犬；第3篇）。	1	皇軍物語，動物愛護	
海國の民／平林博脚本；油野誠一絵画；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1942.7	1	国史	○
大事到来／西正世志絵画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1942.1	1	国史，忠君愛国	
臣民の道／小谷野半ニ絵画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1941.12	1	国体明徴	○
家／大島萬世脚本；村上巖絵画。一日本教育畫劇，1943.4	1	国体明徴	
勤皇南部一族／川合勇太郎原作；鈴木景山脚本；西正世志繪畫；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1944.2	1	国体明徴	○
純忠菊池一族；文部省監修・家庭教育紙芝居作品／納富康之脚本；鳥居清言繪畫；日本教育紙芝居協會製作。一日本教育畫劇，1944.8	1	国体明徴	○
学の泉；教育物語解説。一[権田藤三郎]，1943.1	1	国体明徴，国史	
銃後の力／砥上峰次編輯。一日本教育紙芝居協會，1940.12	1	銃後物語	△

タイトル / 著者表示、一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
チョコレートと兵隊/國分一太郎脚本；小谷野半ニ絵画。一日本教育畫劇，1941.7	1	銃後物語	△
戦士の母/日本教育紙芝居協會脚本；西正世志絵画。一日本教育畫劇，1941.6	1	銃後物語	
妻は戦ふ/吉田春脚本；龍宮うたじ絵画。一日本教育畫劇，1941.10	1	銃後物語	
炭焼く妻/片山たけし原作；西正世志繪画；日本教育紙芝居協會製作・脚色。一日本教育畫劇，1942.1	1	銃後物語	△
妻/稻庭桂子脚本；西正世志繪画。一日本教育畫劇，1943.7	1	銃後物語	
母の翼/上里吉亮作；嶺田弘画。一大日本畫劇，1944.4	1	銃後物語	○
踏切番と子供達/長尾盛之助作；平澤太郎画。一紙芝居刊行會，1943.10	1	銃後物語	○
父に祈る/童畫家クラブ文化紙芝居部製作。一[童畫家クラブ文化紙芝居部]。	1	銃後物語	
親心子心/岡田八千代原作；西正世志繪画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1941.9	1	銃後物語，勤儉貯蓄	○
子馬とはがき/川崎大治脚本；羽室邦彦絵画。一日本教育畫劇，1944.12	1	銃後物語，動物愛護	○
母は泣かず/淺場慶夫原作；永村貞子脚色；羽室邦彦繪画。一日本教育畫劇，1944.12	1	銃後物語，満州国建国史	
戦時お臺所設計圖/金子しげり原作；浦田重雄繪畫；日本教育紙芝居協會脚色・製作。一日本教育畫劇，1942.8	1	生活改善，隣組・婦人会・常会	○
ネ坊ノカンチャン/清田勳脚本・絵画。一日本教育畫劇，1941.12	1	体位改善	○
敵國降伏(かうぶく)/足立直郎脚本；鳥居清言絵画；鈴木景山編。一日本教育畫劇，1944.8	1	忠君愛国	
矢玉の前/緒貫武雄脚本；羽室邦彦絵画。一日本教育畫劇，1944.12	1	忠君愛国	
小楠公の母/松本文恵，今井よね編；京極佳夕絵。一紙芝居刊行會，1943.3	1	忠君愛国	
南海の防人/長谷川伸作；木下大雅画。一東亞國策畫劇，1944.7	1	忠君愛国	△
臆病一番槍/加太こうじ脚色；田代寛哉画。一東亞國策畫劇，1944.10	1	忠君愛国	○
家庭防空陣/浦田重雄繪画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1941.10	1	防空知識	
ナカヨシバウクワウ/鈴木景山脚本；羽室邦彦繪畫。一日本教育畫劇，1944.2	1	防空知識	
午前二時；寫眞週報第三一九號より/油野誠一絵画；鈴木景山編輯。一日本教育畫劇，1944.10	1	防空知識	
防諜戦士/高乘釋得原作；野々口重繪畫；日本教育紙芝居協會脚色・製作。一日本教育畫劇，1942.6	1	防諜防犯	△
はだか談義/小林夜詩男作；金子士郎画。一大日本畫劇，1943.11	1	防諜防犯	
第二常陸丸/山口擁器原作；木島武雄画。一翼賛文化畫劇協會，1942.4	1	防諜防犯	
スパイ御用心/大和侃原作；西正世志繪画；日本教育紙芝居協會脚色。一日本教育畫劇，1941.12	1	防諜防犯	
常會の手引/野々口重繪画；日本教育紙芝居協會脚本。一日本教育畫劇，1941.8	1	隣組・婦人会・常会	
胸の中の歌/倉光俊夫脚本；佐東大朗子絵画。一日本教育畫劇，1941.8	1	隣組・婦人会・常会	
或るバイキンの一生/近藤綾子脚本；西原比呂志絵画。一日本教育畫劇，1941.7	2	衛生防疫	
子寶の春/日本教育紙芝居協會脚本；油野誠一絵画。一日本教育畫劇，1941.12	2	衛生防疫	
手/吉田春脚本；羽室邦彦繪画。一日本教育畫劇，1941.8	2	衛生防疫	
ピーチャントドモタチ/稲庭桂子脚本；籠宮歌ニ絵画。一日本教育畫劇，1941.4	2	衛生防疫	○
藥草園の少年たち/西原比呂志繪画；日本教育紙芝居協會脚色。一大政翼賛會宣傳部，1941.9	2	衛生防疫	
芭蕉/堀尾勉脚本；西正世志繪画。一日本教育畫劇，1941.10	2	東西偉人伝	
風流蜀山人/鈴木景山脚本；石原徵絵画。一日本教育畫劇，1941.8	2	東西偉人伝	
二宮金次郎/堀尾勉脚本；油野誠一絵画。一日本教育畫劇，1941.10	2	東西偉人伝	
本居宣長/堀尾勉脚本；羽室邦彦繪画。一日本教育畫劇，1941.11	2	東西偉人伝	

タイトル / 著者表示, 一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
高田屋嘉兵衛/堀尾勉脚本; 西正世志絵画, 1941.12	2	東西偉人伝	
筑紫の博人/尊朝愛國/西正世志絵画; 日本教育紙芝居協會脚本, 1941.12- (臣民の道シリーズ).	2	東西偉人伝	
谷干城夫人/堀尾勉脚本; 西正世志絵画-日本教育畫劇, 1942.12	2	東西偉人伝	
一茶/堀尾勉脚本; 西正世志絵画, 1943.1	2	東西偉人伝	
堀山陽の母/鈴木景山脚本; 西正世志絵画, 1943.5	2	東西偉人伝	△
山田長政/小糸正世脚本; 西正世志絵画, 1943.6	2	東西偉人伝	○
小村壽太郎/郷田憲原作; 北島英作脚色; 今泉博全絵画, 1943.9	2	東西偉人伝	
間宮林蔵/足立直郎脚本; 佐東大朗子絵画, 1943.10	2	東西偉人伝	
北洋に咆える人々/野村政夫原作; 青木緑園脚本; 西正世志絵画, 1944.9	2	東西偉人伝	
矢嶋排子/守屋東著, 一紙芝居刊行會, 1936.2	2	東西偉人伝	
阿新丸: 少年太平記/鈴木景山脚本; 西正世志絵画, 1943.12	2	東西偉人伝, 感化教育	○
大原幽學/古川良範原作; 西正世志絵画, 1943.11	2	東西偉人伝, 勤労増産	○
上杉鷹山公/齋藤潔編; 京極佳夕絵, 一紙芝居刊行會, 1942.10	2	東西偉人伝, 勤労増産	
大村益次郎: 國民皆兵/郷田憲原作; 鈴木景山脚色; 西正世志絵画, 1942.11	2	東西偉人伝, 皇軍物語	○
山本五十六元帥/鈴木景山脚本; 小谷野半ニ絵画, 1943.12	2	東西偉人伝, 皇軍物語	○
兵制の父大村益次郎/大政翼賛會宣傳部作; 中一彌画, 一翼賛紙芝居協會製作, 1942.11	2	東西偉人伝, 皇軍物語	○
高山彦九郎/萩原進脚本; 西正世志絵画; 日本教育紙芝居協會製作, 1941.9	2	東西偉人伝, 国体明徴	
楠木正行/平林博脚本; 西正世志絵画, 1941.9	2	東西偉人伝, 忠君愛国	
和氣清吾公/平林博脚本; 白井勝平繪画; 日本教育紙芝居協會製作, 1942.3	2	東西偉人伝, 忠君愛国	○
新田義貞/平林博脚本; 佐東大朗子繪画; 日本教育紙芝居協會製作, 1942.12	2	東西偉人伝, 忠君愛国	○
楠公父子/鈴木景山脚本; 鳥居清言絵画, 1944.9	2	東西偉人伝, 忠君愛国	
キューリー夫人傳/鈴木紀子脚本; 西原比呂志絵画, 1941.7	2	東西偉人伝, 発明発見物語	
野口英世: 人類の恩人/木實谷喬壽原作; 池田北鳥脚色; 藤原成憲絵画, 一帝國畫劇 (発売), 1942.12	2	東西偉人伝, 発明発見物語	
二宮尊徳: 壮年時代服部家再興/成瀬正勝構成脚色; 西正世志絵画, 1941.7	2	東西偉人伝, 勤儉貯蓄	
三平の魂祭り/古谷光堂脚本; 西原比呂志絵画, 1941.6	2	動物愛護	
一票を護る/小平鐵男脚本; 浦田重雄絵画, 1941.8	3	時事問題	
總意の進軍: 翼賛選挙貫徹のために/大政翼賛會宣傳部原作; 翼賛紙芝居研究会脚色; 近藤日出造繪画, 1942.3	3	時事問題	○
我は何をなすべきか: 大本營海軍報道部長栗原悦藏海軍大佐の講演に據る/納富康之脚本; 小谷野半ニ絵画, 1944.10	3	時事問題, 国際情勢	
一億補公: 大本營陸軍報道部長松村秀逸陸軍大佐の講演に據る, 1944.10	3	時事問題, 国際情勢	○
宣戦/大政翼賛會宣傳部作; 日本寫眞技術化聯盟構成, 一翼賛會宣傳部, 1942.12	3	戦局ニュース	
敵だ!倒すぞ米英を/大政翼賛會宣傳部作; 近藤日出造画, 一翼賛會宣傳部, 1942.12	3	戦局ニュース	
朝日ニュース紙芝居: 昭和15年第5輯, 一東京朝日新聞發行所, 1940.5	3	戦局ニュース	
大建設, 一選挙肅正中央聯盟, 1942.3	3	戦局ニュース	
撃ちてしまむ/小谷野半ニ絵画; 日本教育紙芝居協會脚本, 1943.3	3	戦局ニュース, 皇軍物語	○
ソロモン海戦/鈴木景山脚本; 小谷野半ニ絵画, 1943.7	3	戦局ニュース, 皇軍物語	○

タイトル / 著者表示、一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
神機いたる／納富康之脚本；小谷野半二繪画；日本教育紙芝居協會製作。—日本教育畫劇，1944.11	3	戦局ニュース、皇軍物語	○
進め一億、火の玉さん／大政翼賛會宣傳部製作；小川武繪畫。—大政翼賛會宣傳部，1942.2	3	戦局ニュース、満州国建国史	○
大空に描く／北島英作脚本；西正世志繪畫；日本教育紙芝居協會製作。—日本教育畫劇，1943.6	4	発明発見物語	
發明への道：小さい事から大きな發明（愛國いろはかるた）／松原宏遠指導；濱野鏡—脚本；小谷野半二繪画。—日本教育畫劇，1944.4	4	発明発見物語	○
日本工員：藤原銀次郎著「工業日本精神」より抜萃／中島幸三郎脚本；青木緑園脚色；城取春生美術。—興亞画劇，1944.10	4	発明発見物語、勤労増産	
風薫る／中島幸三郎作；玉井徳太郎画。—大日本畫劇，1944.7	4	発明発見物語、兵器	
物語愛國百人一首／納富康之脚本；佐東大朗子繪画。—日本教育畫劇，1943.8	4	文化史、国体明徴	
芋の字平：「貰い風呂」より／大島萬世原作；鈴木景山脚本；野々口重繪画。—日本教育畫劇，1944.1	5	劇、勤労増産	○
村の飛行兵／伊藤章三原作；澁亮而脚本；野々口重繪畫；日本教育紙芝居協會製作。—日本教育畫劇，1943.9	5	劇、銃後物語	○
吉祥鹿毛／黒田愛知脚本；佐東大朗子繪画；長谷川伸原作。—日本教育畫劇，1941.11	5	小説	○
青の洞門／佐東大朗子原作；日本教育紙芝居協會繪画。—日本教育畫劇，1942.1	5	小説	
法典ヶ原の武蔵／吉川英治原作；小谷野半二繪畫；日本教育紙芝居協會脚色・製作。—日本教育畫劇，1942.7	5	小説	○
誤解：シュニツラ「盲目のジェロニモとその兄」より／野々口重繪画；山本茂男脚本。—日本教育畫劇，1942.9	5	小説	○
軍刀：安間愛二郎著「海軍秘話」より／安間愛二郎原作；納富康之脚本；西正世志繪画。—日本教育畫劇，1944.4	5	小説	○
日本婦道記：斧堀／山本周五郎原作；青木緑園脚色；西正世志繪画。—興亞画劇，1944.6	5	小説	
忠臣蔵／鈴木景山脚本；西正世志繪画；前篇、後篇。—日本教育画劇，1943.6	5	史話	
忠臣蔵／鈴木景山脚本；西正世志繪画；前篇、後篇。—日本教育画劇，1943.6	5	史話	
八幡船／青木緑園脚本；城取春生美術。—興亞画劇，1944.12	5	史話	
芋代官切腹／農山漁村文化協會製作。—農山漁村文化協會，1943.11	5	史話	
忠臣蔵／第一畫劇社製作；第1篇 赤穂開城篇、第2篇 三村治郎左衛門篇、第5篇 小野寺丹女篇。—第一畫劇社，1942.12	5	史話	
忠臣蔵／第一畫劇社製作；第1篇 赤穂開城篇、第2篇 三村治郎左衛門篇、第5篇 小野寺丹女篇。—第一畫劇社，1942.12	5	史話	
忠臣蔵／第一畫劇社製作；第1篇 赤穂開城篇、第2篇 三村治郎左衛門篇、第5篇 小野寺丹女篇。—第一畫劇社，1942.8	5	史話	
王様とうぐひす／橋本宏脚本；西原比呂志繪畫；日本教育紙芝居協會製作。—日本教育畫劇，1941.12	5	童話	○
金太郎サン／川崎大治脚本；西正世志繪画；角力の巻、芝刈の巻。—日本教育畫劇，1942.4	5	童話	○
安南の浦島／鈴木紀子脚本；小谷野半二繪畫；日本教育紙芝居協會製作。—日本教育畫劇，1942.5	5	童話	○
ピルリ姫／横山操原作；高橋悦子脚色；西正世志繪画。—日本教育畫劇，1942.7	5	童話	○
金太郎サン／川崎大治脚本；西正世志繪画；角力の巻、芝刈の巻。—日本教育畫劇，1942.12	5	童話	
牛若丸：新版／平林博脚本；西正世志繪画。—日本教育畫劇，1942.12	5	童話	△
カミサマトシロウサギ／川崎大治脚本；西正世志繪画。—日本教育畫劇，1943.2	5	童話	
三ビキノコブタ／川崎大治脚本；西正世志繪画。—日本教育畫劇，1943.8	5	童話	
金太郎サン／川崎大治脚本；西正世志繪画；角力ノ巻、芝刈の巻、熊ノ大手柄ノ巻。—日本教育畫劇，1942.2	5	童話	
鷲王丸／伊藤壽雄脚本；羽室邦彦繪画。—日本教育畫劇，1943.3	5	童話	○
鼠の嫁入り／川村あい子脚本；佐野浩繪画。—日本教育畫劇，1943.8	5	童話	○
イナバノウサギ／永村貞子脚本；羽室邦彦繪画。—日本教育画劇，1944.5	5	童話	○
子どもの海：小出正吾著「クスマの花」より／小出正吾原作；中村小坡脚本；本田幸一繪画。—日本教育畫劇，1944.11	5	童話	

タイトル / 著者表示, 一出版事項	分類	キーワード	森山優氏調査*
花サカザイ / 鈴木景山脚本; 羽室邦彦絵画, 1944.12	5	童話	○
桃太郎 / 相馬泰三撰; 澤令花畫, 一畫劇報國社, 1942.4	5	童話	△
ハンスのたから / 高橋五山作; 蛭田三郎画, 一全甲社紙芝居刊行會, 1940.3—(幼稚園紙芝居; 第16輯).	5	童話	○
南海の炊見 / 越野虹 = 脚本; 西正世志絵画, 一日本教育畫劇, 1941.12	6	宣撫活動	
光りの歌 / 堀尾勉脚本; 西正世志絵画, 一日本教育畫劇, 1942.7	6	宣撫活動	
アングロ島攻撃 / 伊藤壽雄脚本; 古藤幸年絵画; 松葉町子編輯, 一日本教育畫劇, 1944.6	6	宣撫活動	△
マレーの虎 / 西正世志画; 和田義臣脚本, 一日本教育画劇, 1942.9—(日本教育紙芝居協會作品; 332).	6	宣撫活動, 映画	○
滅私奉公: 娛樂用 / 日本教育紙芝居協會脚本; 西正世志絵画, 一日本教育畫劇, 1941.6	7	大衆演芸	
虎造くづし: 清水一家の三下奴 / 西正世志絵画; 日本教育紙芝居協會脚本, 一日本教育畫劇, 1941.11	7	大衆演芸	
椰子の仲裁 / 田中賢司原作; 清水崑絵画; 日本教育紙芝居協會脚色, 一日本教育畫劇, 1941.	7	漫画	△
イノ平タノ作: 上京の巻, 一 [出版者不明].	7	漫画	
ダムダムダン吉: 探偵の巻, 一 [出版者不明].	7	漫画	
アッコロ助: 武者修業ノ巻, 一 [出版者不明].	7	漫画	
パチンコ太郎: 寶の山探検, 一 [出版者不明].	7	漫画	
昭和浦島: 潜水チビ助: 海底探検の巻, 一 [出版者不明].	7	漫画	
ニッ目小僧 / 宇井忠原作; 松葉町子脚本; 西正世志絵画, 一日本教育画劇, 1943.11	7	ユーモア	○
オトモダチ / 平林博脚本; 相川壽子絵画, 一日本教育畫劇, 1941.11	8	感化教育	○
大空の子: 日本教育紙芝居協會 / 日本教育紙芝居協會 [作], 一日本教育画劇, 1942.10	8	感化教育	○
柳 / 文部省監修; 稻庭桂子脚本; 小谷野半二繪畫; 日本教育紙芝居協會製作, 一日本教育畫劇, 1943.4	8	感化教育	○
銅像物語 / 川島順平脚本; 羽室邦彦絵画, 一日本教育畫劇, 1943.8	8	感化教育	
明るい店 / 金子徳原作; 西原比呂志絵画, 一日本教育畫劇, 1943.12	8	感化教育	
富士いゆる丘 / 永村貞子脚本; 羽室邦彦絵画, 一日本教育畫劇, 1944.5	8	感化教育	○
ヘイタイゴッコ / 鈴木景山脚本; 松井末雄絵画, 一日本教育畫劇, 1944.6	8	感化教育	
ドウブツタイクワイ / 鈴木景山脚本; 羽室邦彦絵画, 一日本教育畫劇, 1944.6	8	感化教育	
閻魔の廳 / 知切光歳作; 大隅さだを画, 一日本教育畫劇, 1944.12	8	感化教育	
翼賛少年 / 日本教育紙芝居協會編輯部脚色; 清田勲絵画, 一日本教育畫劇, 1941.10	8	感化教育	○
ボッコロ隊 / 渡辺一光作・エ, 一外務資料協會, 1941.10	8	感化教育	
明けゆく村 / 翼賛紙芝居研究会製作; 森山輝脚色; 津田亮繪畫, 一日本教育畫劇, 1942.2	8	感化教育	○
マリト兵隊, 一日本児童文化研究社, 1943.3	8	感化教育	
家康と麿紙 / 神谷喬太郎脚本; 羽室邦彦絵画, 一日本教育畫劇, 1943.7	8	感化教育, 勤儉貯蓄	
峠 / 齋田喬脚本; 伊藤文乙美術, 一興亞画劇, 1945.7	8	感化教育, 疎開児童	
お山の常會 / 青木緑園脚本; 城取春生絵画, 一興亞画劇, 1944.4	8	感化教育, 隣組・婦人会・常会	
小さい伝令使: 小学國語讀本巻八 / 日本教育紙芝居協會脚本; 小谷野半二絵画, 一日本教育畫劇, 1941.8	8	国民学校教材	○
稲むらの火: 國語讀本巻十 / 松永健哉脚色; 西正世志絵画, 一日本教育畫劇, 1941.7	8	国民学校教材	
雨の降る日 / 松原宏遠脚本; 南義郎繪畫; 日本教育紙芝居協會製作, 一日本教育畫劇, 1942.6	8	国民学校教材, 産業・交通	○
ミンナノタメニ: 低學年向紙芝居 / 川崎大治脚本; 宇田川種治絵画, 一日本教育畫劇, 1942.4	8	国民学校教材, 生活指導	

